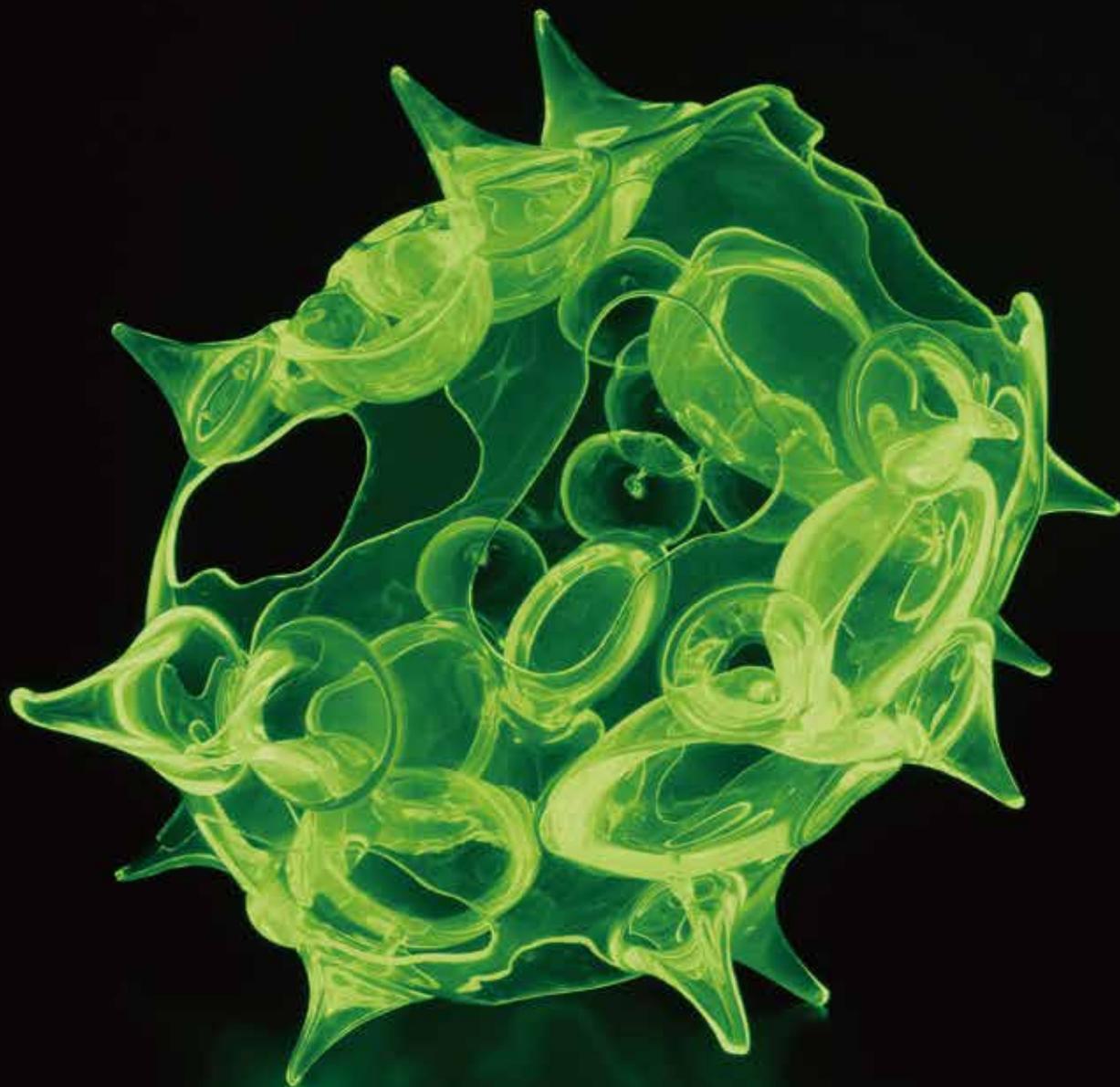


白日夢

— Daydream —



～佐々木雅浩 ガラス造形展～

2021.3/31(水)→7/5(月)



妖精の森ガラス美術館
Fairywood Glass Museum

白日夢

～佐々木雅浩 ガラス造形展～

— Daydream —

妖精の森ガラス美術館春期企画展は、ガラス作家佐々木雅浩さんの展覧会を開催いたします。

佐々木さんの作品は様々な方向に伸びた突起がいくつも連なって全体のかたちを形成していく、有機的なフォルムが特徴です。突起が連続するイメージは細胞やDNA等、生物の根源的な「連続」する部分を想起させ、作品をずっと眺めていると今にも動き出しそうな感覚を覚えます。

今回の展覧会を開催するにあたり、佐々木さんにウランガラスで制作していただいた収蔵作品には「白日夢(はくじつむ)」というタイトルがつけられています。白日夢(=白昼夢)は日中、目覚めているのにも関わらず実際には起こっていない空想や想像を夢のように映像として見るような、幻想にふけている状態を表す言葉です。佐々木さんの作品を見ているとウランガラスが放つ光も相まって、まるで別世界の生き物のように見えてくる感覚があり、作品が醸す夢幻的な世界に引き込まれてしまいます。

その世界は佐々木さんがウランガラスを使って意図的に表現した世界か、それとも「想像」と「創造」が奇跡的に重なり合った幻想世界、どちらでしょうか。または…?



Masahiro Sasaki

佐々木 雅浩

1969 名古屋に生まれる
1993 愛知教育大学 総合造形コース 卒業
1995 富山ガラス造形研究所 研究科 卒業
1996 金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房専門員(～2001年)
現在 愛知教育大学 教授

[近年の主な展覧会]

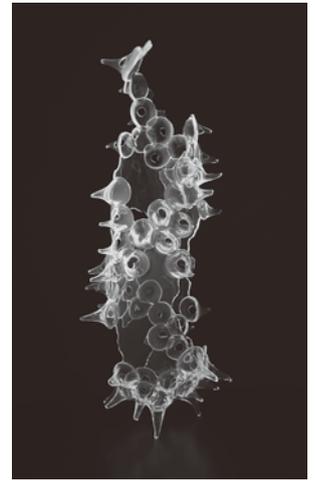
- 2017年 「Life-world /lebenswelt Ausstellung Exhibition」 Alexander Tutsek-Stiftung (ドイツ)
- 2018年 「愛知のガラス展～愛知、教育現場からのガラスの表現」 大一大美術館(愛知)
- 2019年 「Glass Art Toyama 2019」富山ガラス美術館(富山)
- 2020年 「ガラスの変貌Ⅳ」ギャラリーヴォイス(岐阜)
- 2020年 「立ち上がる土、しなやかなガラス～素材からあらわれる生態的形態」 日本橋三越本店 コンテンポラリーギャラリー(東京)

[主な受賞歴]

- 1999年 '99日本現代ガラス展・能登島 銀賞
- 1999年 '99世界工芸コンペティション・金沢 優秀賞
- 2009年 第4回 KOGANEZAKI・器の形・現代ガラス展 黄金崎グランプリ
- 2009年 第4回現代ガラス展 in 山陽小野田 土屋審査員賞
- 2010年 国際ガラス展・金沢2010 奨励賞

[パブリックコレクション(作品収蔵)]

金沢市・能登島ガラス美術館・富山市ガラス美術館をはじめ多数



Fairywood Glass Museum

妖精の森ガラス美術館

[開館] 9:30～17:00(入館は16:30まで)

[休館日] 火曜日 ※5/4は開館いたします。

[入館料]

	個人	団体
大人・大学生	500円	400円
高校生	400円	300円
小学・中学生	300円	200円

●団体は20名以上
●小学生未満無料

岡山県苫田郡鏡野町上齋原666-5
TEL 0868-44-7888 FAX 0868-44-7889
<https://fairywood.jp/>

